

○議長（村田千鶴子議員） 次に、高田麻由奈さん。

〔2番 高田麻由奈さん登壇〕

○2番（高田麻由奈さん） 高田麻由奈と申します。よろしくお願ひします。

それでは、通告に従ひまして質問します。

私は、ことし3月にアメリカのリッチモンド市に学生親善施設として派遣され、リッチモンド市民との交流などの体験をしてきました。渡米するときに、島田市の観光パンフレットなどの英語版を現地に持っていかうと思ひ、パンフレットをもらうために島田駅前観光案内所に出かけました。駅構内には観光案内所の誘導表示がありましたが、その先の観光案内所にたどり着くのに、わかりにくく苦勞しました。そのようなこともあつて、観光案内所の認知度がまだまだ低いのではないかと感じました。市民にとつても利用する価値のある施設だと思ひますので、観光案内所の存在を広めたいのです。そうすれば、おのずと観光客にも広められるのではないかと思ひます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際交流が盛んになり、島田市にも外国人観光客がたくさん訪れるのではと思ひながら、観光案内所をもつと活用できないかと思ひています。

そこで、次のとおり質問します。

(1) 現在の観光案内所の利用状況はどうですか。

(2) 観光案内所を含めた島田市の外国人観光客に対する取り組みについて教えてください。

(3) 市民に観光案内所を知ってもらえれば、観光客にも広まるのではないかと先ほどお話ししましたが、どのようにしたら観光案内所の認知度を上げられると思ひますか。

(4) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて島田市として現在取り組んでいることを教えてください。

次に、子供が安心して暮らせるまちづくりについて質問させていただきます。最近、隣の藤枝市で小学生が刃物で切り付けられた事件が発生しま

した。また、新潟市で小学生が線路に放置された事件は衝撃を受けました。私は地元の高校に徒歩で通学していますが、部活動や学校行事の準備などでどうしても下校する時刻が遅くなってしまうことがあります。一人で夜道を帰らなくてはいけないことが多いです。普段、学校と自宅を行き来する道は、一本脇道に入るとほとんど車の通りもなくなり、夜も明かりが少ないためとても暗くなります。さらに、秋や冬の季節は日が短いので、部活動の練習を終えてすぐに下校しても、何となく怖いと思ひながら帰ることもあります。また、同級生の友達が中学生のころに不審者に会った話を聞いたことがありました。このように不審な人に会うことは身近でもよくあり、きっと遭遇した人は誰もが怖い思ひをしたはずで、市内には幾つもの小・中学校があり、特に小学生などの小さい子供たちが怖い思ひをしないためにも、環境を整えることはとても重要だと考えています。

そこで、質問です。最近、新潟市の事件、藤枝市の事件が発生しましたが、(1) 現在、島田市ではこのような事件は起こっていないでしょうか。

(2) また、子供が少しでも安全に通学でき、遊びに行けるよう、また、不審者に会わないような安全対策についてお聞きしたいと思ひます。子供の安全のために市として取り組んでいることは何でしょうか。

(3) 子供を預けられる放課後児童クラブは十分にあるのでしょうか。

(4) 子供が安心して遊べる見通しのよい広場をもつとつくったらいいなと思ひますが、どうでしょうか。

以上、8点について質問します。よろしくお願ひします。

〔2番 高田麻由奈さん発言席へ移動〕

○議長（村田千鶴子議員） 染谷市長。

〔市長 染谷絹代登壇〕

○市長（染谷絹代） 高田さんの1の(1)の御質問

についてお答えをいたします。本市の観光案内所はJR島田駅北口とJR金谷駅前の2カ所にございます。休業の月曜日を除き、島田市観光協会の職員がそれぞれ1名常駐し、外国人観光客への対応も含め、観光施設に関する問い合わせや観光マップ、パンフレットの配布、お土産グッズの販売などを行っております。平成29年度の利用者数は、島田駅前が1万1,917人、金谷駅前が1万959人となっております。そのうち外国人観光客は島田駅前が217人で約2%、金谷駅前が439人で約4%となっております。

次に、1の(2)の御質問についてお答えをいたします。訪日外国人の増加に伴い、当市では観光案内所や公共施設への無料Wi-Fiのアクセスポイントの設置や、外国人向けの観光パンフレットの作成を行っております。さらに島田市観光協会のホームページに多言語ポータルサイトを作成するとともに、市内の観光施設や宿泊施設が無料Wi-Fiの整備やホームページなどを多言語化する場合には支援を行っております。また、現在、通訳業務の補助ツールとして小型音声翻訳機の導入を検討しております。

次に、1の(3)の御質問についてお答えをいたします。JR島田駅前観光案内所までの誘導につきましては、案内表示をふやすなどJR東海、観光協会と検討を行い、できることから実施してまいりたいと考えております。また、観光案内所は顔を向き合わせて御案内するコミュニケーションの場でもあります。その利点を生かし、旬な情報、ガイドブックにはない奥深い情報を提供するなどして関心を高め、誰もが気軽に立ち寄ってもらえる場所となるよう観光協会と連携を図ってまいります。こうした取り組みにより、観光案内所の認知度向上につながっていくのではないかと考えております。

また、1の(4)の御質問についてお答えをいたします。当市では観光課内にオリンピック・パラ

リンピック推進室を設置し、教育と文化の交流、スポーツの振興、交流人口の拡大などを目的に、オリンピック出場国を対象として事前合宿誘致に取り組んでおります。その成果として、モンゴル国ボクシングナショナルチームとシンガポール卓球ナショナルチームの合宿誘致に成功しました。この合宿を通じ、選手と市民との交流事業を実施するなどして、市民のスポーツへの関心、異国文化への理解の向上、さらには国際交流機会の創出につなげてまいりたいと考えます。

次に、2の(1)と(2)の御質問は関連がありますので、一括してお答えをいたします。島田市においては子供が危険にさらされるような凶悪な事件は幸い起きておりません。しかし、不審者が小学生などに声をかけたり、写真を撮影したりするなどの事案が発生しております。注意する必要があります。対策としましては、防犯ボランティアにより青色回転灯を装着した車両を使い、犯罪を未然に防ぐことや、不審者を遠ざけることを目的としてパトロールを実施しております。地域における見守り活動ですので、警察だけでは巡回し切れない狭い路地まで見回ることができます。また、子供たちに対しては不審者や犯罪に遭遇したときの対処方法を学ぶ通称危トレといった体験型防犯講座を警察等と連携して行っております。さらに島田市教育委員会では、不審者に係る情報があった場合、全ての小・中学校、幼稚園、保育園及び警察等の関係機関に不審者情報を提供しております。各学校は児童・生徒に複数で登下校すること、通学路の子供を守る110番の家を確認するなどを指導するほか、不審者情報をメール配信し、保護者にも注意喚起を行っております。

次に、2の(3)の御質問についてお答えをいたします。島田市の放課後児童クラブは市の直営のほか、地域の運営委員会や保育園など現在、21カ所で運営をしております。全ての小学校区で利用できるため、約900人の児童が4月から利用して

おります。しかし、年々、申し込み児童数は増加傾向にあり、特に夏休みなどの長期休暇では定員を超え、待機児童が発生しているクラブもあります。今後におきましても、申し込みの状況に応じて施設の拡張やクラブの増設、民間児童クラブとの連携により多くの児童が利用できるよう安全・安心な子供の居場所づくりに努めてまいります。

次に、2の(4)の御質問についてお答えをいたします。市内には中央公園、元島田公園、往還下公園などの広い公園があります。こうした広い公園が市内の全ての地域にあることは理想であります。このような公園をつくるには膨大な費用と時間を要するため、数多く整備することは大変困難な状況でございます。現在、当市では子供たちが安心して遊べる広い場所として田代の郷多目的スポーツレクリエーション広場の整備を進めております。

以上、答弁申し上げます。

なお、再質問につきましては担当部長から答弁させる場合がありますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（村田千鶴子議員） 高田さん。

○2番（高田麻由奈さん） 御答弁ありがとうございます。それでは、再質問をさせていただきます。

1の(4)の質問に関連して、市民と合宿誘致国双方がお互いの理解を深めるための今後の取り組みについて教えてください。

○議長（村田千鶴子議員） 谷河産業観光部長。

○産業観光部長（谷河範夫） お互いの理解を深める取り組みといたしまして、現在ちょうど行っておりますけれども、7月27日から8月1日までモンゴルに副市長と職員の計3名を派遣して、関係者への面会や学校、病院等への表敬訪問を実施しております。また、来年の8月3日には川根文化センターチャリム21でモンゴル国の伝統楽器である馬頭琴コンサートを開催予定です。これは今年

度、5月18日にプラザおおりにおいて開催をし、大変好評を得た取り組みでした。さらにモンゴルやシンガポールの紹介や合宿の様子などを展示している写真展についても、年間を通して市内各施設で開催をしておりますが、今後も随時新しいものに内容を変えながら継続してまいります。今後も市といたしましては島田市国際交流協会など民間団体と協力しながら友好事業を推進してまいります。

○議長（村田千鶴子議員） 高田さん。

○2番（高田麻由奈さん） ありがとうございます。

次に、2について再質問いたします。市役所や警察、教育委員長、学校などにたくさん不審者情報が集まってくると思いますが、ことしに入り、6月末までに何件くらいあるのでしょうか。その件数は昨年と比較して多いのでしょうか。

○議長（村田千鶴子議員） 杉村地域生活部長。

○地域生活部長兼支所長（杉村嘉弘） 質問の件数でございますけれども、ことしの平成30年1月から6月末までに島田市内で島田警察署に通報のあった不審者情報については、26件ございました。それから平成29年の1月から12月まで、昨年1年間の通報件数でございますけれども、21件でありましたので、件数だけを比較しますと、ことしは既に半年間で26件と大幅な増加傾向にございます。そのため、島田警察署や防犯ボランティアの皆さんへのパトロールの要請というものも大変多くなっているという状況になっています。

以上です。

○議長（村田千鶴子議員） 染谷市長。

○市長（染谷綱代） 放課後児童クラブのことを少しお話をさせてください。保育園のほうは待機児童ゼロをこの4月に達成することができました。次なる課題は放課後児童クラブの待機児童ゼロであります。今、6年生まで見ることにしております。クラブの増設や拡張を続けているところですが、一方で一人の母親としての私は矛盾

する心配をしております。というのは、小学校6年生まで放課後児童クラブで安全・安心にずっと見守られていて、中学1年生になったとたんに放課後は自分で考えて自分で判断して暮らすのです。やはりそれでいいのかと思うと、まさに小学生のうちから自分の危険をみずから察知して、自分でその危険を回避できる、そういう子供を育てていかなければいけないのだということを思っております。放課後児童クラブとして施設拡充、安心・安全な居場所をつくるということと同時に、一人一人の子供たちの心のたくましさや危険力の察知、そしてその危険を回避するための術を身につけてほしい、そういう子供たちを育てていきたいと考えております。

○議長（村田千鶴子議員） 高田さん。

○2番（高田麻由奈さん） ありがとうございます。自分たちの知らないところでも、子供たちの安全のために多くの取り組みがされていることを初めて知りました。さまざまな対策がある中、子供にとって一番身近な地元の方々と連携してパトロールをしているということで、とても安心感がありました。また、2020年のオリンピックに向けて積極的に島田市が取り組みを進めていることを知り、国際交流がより大事なものになってきていると改めて実感しました。島田市をアピールしていくためにも、引き続き外国人観光客も含めておもてなしの取り組みをお願いしたいと思います。そして、私たち高校生も積極的に国際交流をしていきたいと思いました。

これで私の質問を終わりたいと思います。本日はこのように貴重な時間をいただき、感謝いたします。ありがとうございました。